

<p>3日 大蔵省, 4月の一般会計税収(95年度分, 租税及び印紙収入)を発表 前年同月比3.0%増の4兆6,485億円 所得税(申告分)前年同月比4.5%増 4月末までの税収累計では43兆9,378億円と前年同月比で0.9%下回る 大蔵省, 5月末の外貨準備高を発表 前月末比26億54百万ドル増の2,083億79百万ドルとなり27カ月連続で過去最高を更新。国別比較では日本が31カ月連続で世界一。以下, 台湾, ドイツ, 米国, 中国の順 全米購買部協会(NAPM), 5月の景気指数を発表 49.3%と再び50%割り込む</p>	<p>14日 米連邦準備理事会, 5月の鉱工業生産指数(87年=100, 季調済)を発表 125.3。前月比0.7%前年同月比3.2%と各上昇 同時発表の設備稼働率は83.2%で前月から0.3ポイント上昇前月比プラスは2カ月連続</p>
<p>6日 独連邦統計局, 96年1-3月期の実質国内総生産の伸び率(速報値, 季調済)を発表 前期比マイナス0.5%</p> <p>7日 米労働省, 5月の雇用統計を発表 非農業部門の雇用数(季調済)は前月比34万8千人増 失業率(季調済, 軍人を除く)は前月比0.2ポイント上昇し3月と同水準の5.6%となった。サービス部門では前月比で18万1千人増加 OPEC, 7月以降の石油生産上限を日量80万バレル引き上げを合意。生産上限の変更は93年9月以来2年9カ月ぶり</p>	<p>17日 大蔵省, 5月の貿易統計速報(通関ベース)を発表 輸出超過額は前年同月比60.5%減の2,317億円となり4月に続いて大幅減少。対米貿易黒字も4割減。 貿易黒字は18カ月連続減少 輸入額は3割を超える高い伸び 輸出額の伸びは14.2% 大蔵省, 日本たばこ産業(JT)株を一株当り81万5千円で売却すると発表 売却株数27万2,390株。うち3万5千株を海外で、残り23万7,390株を国内で売却 売却総額は約2,220億円で国債整理基金特別会計の収入になる</p> <p>18日 米商務省, 5月の住宅着工件数(季調済, 年率)を発表 143万4千戸。前月比4.7%減, 前月比マイナスは2カ月ぶり前年同月比10.3%増加 米労働省, 96年1-3月期非農業部門の労働生産性指数(92年=100, 季調済, 改定値)を発表 102.0。前期比年率換算で2.1%上昇 伸び率は93年10-12月期以来最大</p>
<p>10日 大蔵省, 4月の国際収支状況(速報)を発表 経常黒字は5,552億円で前年同月比45.2%の減少 貿易黒字は同48.8%減少。貿易・サービス収支は1月以来, 3カ月ぶり赤字。経常黒字は95年9月以降8カ月連続で前年水準を下回った。 輸出額は前年同月比11.9%増と9カ月連続上回った。 輸入は21カ月連続で前年同月を上回る。 サービス収支の赤字同32.8%拡大 貿易・サービス収支は258億円の赤字 大蔵省, 4月の対内・対外投資状況を発表 国内投資家の海外株式買い越し額は5,974億円と過去最高。海外投資家による国内株式買越し額は7,891億円</p>	<p>20日 米商務省, 4月の貿易統計を発表 貿易赤字(サービスを含む, 国際収支ベース, 季調済)は前月比7.7%増の86億29百万ドル 対日赤字(サービスを除く, 通関ベース, 季調済)は同0.2%減の40億96百万ドル。 国際収支ベースの輸出は前月比1.0%増の699億4千万ドル。輸入は同1.7%増の785億7千万ドル。 通関ベースの貿易赤字(サービスを除く, 季調済)は同1.4%減の121億63百万ドル。地域別は対中国の赤字が前月比28.9%増の23億35百万ドルと大幅拡大 米商務省, 96年1~3月期の経常収支(季調済)を発表 前期比16.9%と拡大し355億88百万ドルの赤字。 貿易赤字が前期比12.4%と大幅増加</p>
<p>11日 米労働省, 5月の卸売物価指数(82年=100, 季調済)を発表 131.0。前月比0.1%下落。前月比マイナスは2月以来3カ月ぶり</p>	<p>21日 米労働省, 5月の輸入物価指数(90年=100)を発表 107.9。前月比0.4%低下。前月比マイナスは3カ月ぶり。 輸入物価(石油を除く)は前月比0.3%低下。輸出物価指数(同)は110.5。前月比0.4%上昇</p>
<p>12日 米労働省, 5月の消費者物価指数(82-84年平均値, 季調済)を発表 156.6。前月比0.3%前年同月比2.9%と各上昇</p> <p>13日 大蔵省, 96年1~3月期の法人企業統計を発表 全産業の設備投資は前年同期比7.5%増と91年1~3月期(10.9%増)以来5年ぶりの高い伸び 製造業は前年同期比10.0%増 非製造業は6.3%増, サービス業は24.6%と大幅増 売上高も前年同期比7.8%増。経常利益は25.4%と大幅増加 大蔵省, 5月の景気予測調査を発表 4~6月の判断指数は5.9と三四半期連続のプラスとなり, 緩やかな回復が続くとみている。</p>	<p>28日 米商務省, 96年1~3月期の実質GDP(国内総生産)の伸び率(確定値, 季調済)を発表 前期比年率で2.2% 東証日経平均株価(第1部, 大引け) 月間最高値22,666円80銭(26日), 最安値21,588円52銭(3日) 東京外為市場(円相場, 銀行間直物, 対1ドル) 月間最高値107円62銭~107円65銭(3日), 最安値109円86銭~109円89銭(28日)</p>